

下水道事業評価(令和5年度)

1 事業情報

担当課

下水道維持課

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施策	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きよの地震対策としては、耐震化工事を実施します。 ・マンホール浮上防止対策は浮上防止工事を行います。							
期間	令和5年4月	～	令和6年3月					
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	359,359	4,499	354,860	262,962	4,422	258,540	73%
	工事費	340,780	0	340,780	251,299		251,299	74%
	原材料費	0			0			
	委託料	18,579	4,499	14,080	11,663	4,422	7,241	63%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	6,715			6,715			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	4,422千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	1%		
進捗状況	今年度計画している地震対策更生工事実施設計、更生工事、マンホール浮上防止工事について契約を済ませました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	管きよの地震対策として管きよ更新の更生工事を432m実施しました。国庫補助金の減額により、数値目標の921mには届きませんでした。事業の進捗としては予定どおりです。 マンホール浮上防止対策として16基の対策工事を行い、管きよ更新のための管更生実施設計を615m行いました。
------	---

5 指標

指標		R4	R5	R6
指標名	汚水管きよ更生工事(地震対策)	78	921	
算出式・根拠		実績値	78	432
指標名	マンホール浮上防止対策率	56.4	64.2	
算出式・根拠	(浮上防止対策済マンホール数/対象マンホール数)×100	実績値	62.8	63.7
指標名	重要な幹線等の耐震化率	54.6	56.8	
算出式・根拠	(耐震化済延長/重要な幹線等の総延長)×100	実績値	54.6	55.0

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A	組織学習	情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
耐震化に関する情報収集に努め、業務のプロセス改善を図ります。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
工事を発注するための財源となっている国庫補助金の交付額が年々減少し、工事施工延長が短くなっています。 引き続き工事に必要な国庫補助金の交付に向けて要望を行っていきます。	現状維持で継続